

# B-e-3 CO<sub>2</sub>排出量削減への取り組み

環境

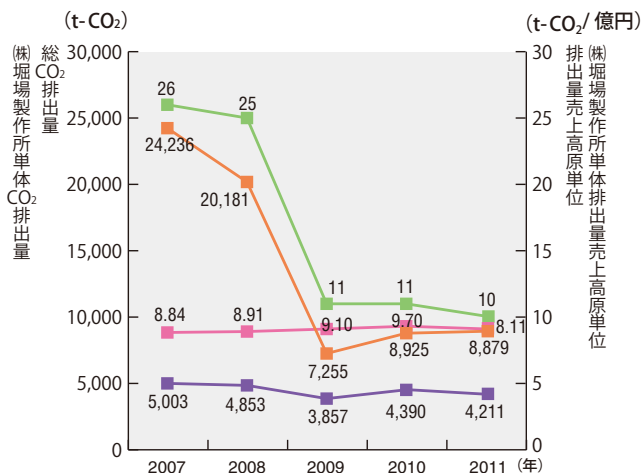
2011年国内HORIBAグループの総CO<sub>2</sub>排出量は2010年に比べ0.5%減の8,879t、総CO<sub>2</sub>排出量売上高原単位は2010年比5%減の結果となりました。

また堀場製作所単体のCO<sub>2</sub>排出量は2010年に比べ4%減の4,211t、CO<sub>2</sub>排出量売上高原単位は2010年比16%減の結果でした。削減要因は、東日本大震災以降政府等の節

電要請を受けて実施した、節電・省エネ対策が効を奏したものと考えています。

## 総CO<sub>2</sub>排出量推移

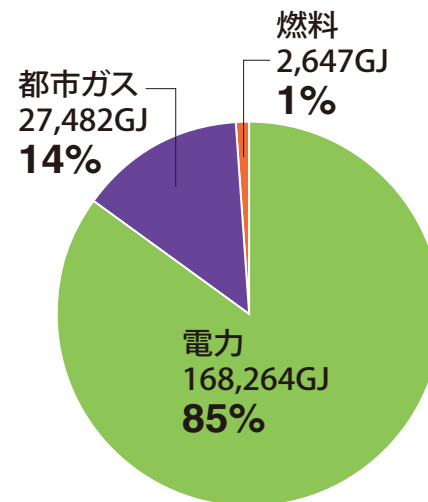
- 排出量売上高原単位 (t-CO<sub>2</sub>/億円)
- 総CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>/年)
- (株)堀場製作所単体排出量売上高原単位 (t-CO<sub>2</sub>/億円)
- (株)堀場製作所単体CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>/年)



\*1 CO<sub>2</sub>排出係数：全国電力会社の平均値0.378kgCO<sub>2</sub>/kWhを基本に算出していますが、2005年以降の京都地区については関西電力(株)の公表値を採用しています。都市ガスは大阪ガス(株)の公表値を2005年に遡って適用しています。  
\*2 都市ガス使用量：標準状態(0℃、1気圧)に換算。

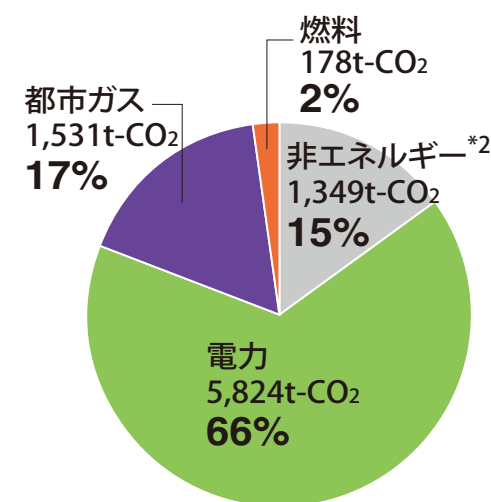
## 2011年 エネルギー使用種類別比率

(対象：国内生産拠点\*1)



## 2011年 温暖化ガス(CO<sub>2</sub>換算)排出量種別比率

(対象：国内生産拠点\*1)



\*1 国内生産拠点には、(株)堀場製作所 本社工場・びわこ工場、(株)堀場エステック 本社工場・阿蘇工場、(株)堀場アドバンスドテクノ 本社工場を含みます。  
\*2 非エネルギー：六フッ化硫黄、パーフルオロメタンなど。